

議会報告

日本共産党交野市会議員団

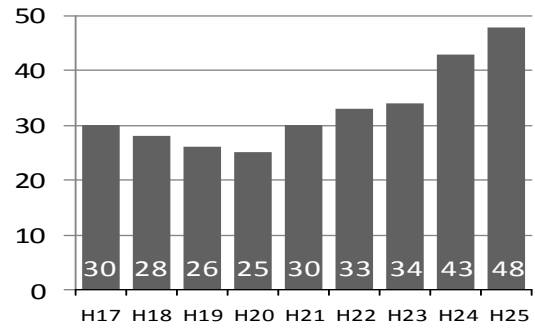
かたの民報

NO. 1611
2015年2月発行

交野市役所 共産党控室
私部 1-1-1
☎ 892-0121 (内線 301)

中上 さち子 ☎893-6785
さかの 光雄 ☎893-1083
さらがい ふみ ☎894-2835

◆基金残高(億円)



交野市の平成25年度一般会計の決算は、2億9千万円の赤字となり、積立基金は4億9千万円積み増して48億円となりました。

12月議会 交野市平成25年度決算 — 日本共産党は反対 暮らし福祉の充実を 積立基金48億円を活用し



平成25年度は、妊婦健診の補助増額や公立幼稚園の預り保育の実施、別館の耐震化、災害時の物資の分散備蓄などが前進しました。しかし、平成22年度からの第二次財政健全化計画で、ゆうゆうバスの削減や、斎場使用料補助の廃止、生計援助資金や就学援助の縮小など、多くの市民サービスが削減され、市民生活に深刻な影響をあたえています。

日本共産党は、基金を有効に活用し、高齢者・障がい者や、低所得者への切実な支援策を削減前にもどし、さらに充実に踏み出すことを求めて、決算認定に反対しました。

私立保育園が定員100名増へ

	現定員	定員増
交野保育園	120	30
私部保育園	90	30
わかば保育園	120	40
合計		100

保育所の待機児童の対策として、私立保育園3園が増築し、定員を合計100名増やすことが12月議会の補正予算で決まりました。平成27年度に工事、28年度から定員増を実施する予定です。

昨年11月現在の待機児童は27名。来年度から入所要件の緩和で、さらに待機児童が増える見込みです。(月64時間以上の就労で入所できるよう変更。現在は月120時間以上)。



高齢者虐待の対応について

【問】高齢者への暴力・暴言、介護放棄など、高齢者虐待が年々増加している。当事者や周りの方が、安心して相談できる窓口の周知をすすめ、市として適切に対応できるようにマニュアル整備などすすめてほしい。

【答】相談や通報があった場合は、市高齢介護課および地域包括支援センターで対応している。今後、広報やホームページを活用し、相談窓口のいっそうの周知を図っていききたい。

高齢者虐待の相談件数(交野市)

平成23年度	13件
平成24年度	21件
平成25年度	35件

星田公園 — 利用しやすく改善を

【問】星田公園は自然豊かで地域に親しまれている一方、高台で人の目が届きにくい。また、遊具も古く、「新しい遊具を増やしてほしい」などの声が出されている。安心して楽しく遊べる公園に改善できないか。

【答】市街地の貴重な都市林が残る星田公園の地形を生かしつつ、地域のニーズに合った公園のあり方について、地域住民の声を聞きながら今後調査し、検討したい。



就学援助の基準引き上げと改善を

【問】就学援助の認定基準の基となる生活保護基準は、国の改善で平均6.5%引下げられた。その影響で制度を利用できなくなる子どもが生まれる。引き下げでなく、現行水準を維持すべきと考えるが。

【答】2015年度も、現行水準を維持したい。

【要望】就学援助制度の改善として、①認定基準額は子どもの実年齢で算定すること。②持家と借家を区別せず認定額は同額にすべきである。

義務教育に係る保護者負担の軽減を

学校給食は無料に

【問】憲法26条で「義務教育は無償」となっている。学校給食は無償にすべきでは。

【答】学校給食法第11条2項で、保護者負担を規定している。米飯給食への補助を実施しており、無料化は難しい。

【要望】文科省通達による学校給食法の趣旨は、市町村の判断で保護者負担の軽減は可能としている。子どもの貧困が問題となるなか、全国で約50の自治体が給食費無料や助成を実施している。交野での無料化を要望する。